

## 今月のすとりー

おとんは競馬が好きだった。毎週土曜と日曜にはつい競馬場へ足を向けてしまうくらいに、好きだった。さらに、金曜日の午後になると、仕事中でもKIOSKに大スポ（東スポの関西版）を買いに行ってしまうくらいに好きだった。そんな、おとんであるが、減多に勝つことはない。たまに勝っても、誰もが買っている大本命がそのまま入ってきたときぐらいである。おかんは、そんなおとんをいつもふがいなく思っていた。

そして、いよいよ春になり、待望のGIのシーズンがやってきた。もちろん、おとんもワクワクしている。しかし、最初のGIレース「桜花賞」にあっさり負け、帰ってきたおとんを見て、ついにおかんの怒りが爆発した。

## システムの内容

このシステムは、勝ち馬投票券（いわゆる馬券です）を上手に購入するためのシステムです。馬券の買い方にはとかく性格が表れがちですが、中には何点も買すぎて、せっかく入ったのになんと儲からない方もいます。そんな方が自分の購入する馬券を入力しておいて、どの馬が入ればいくら儲かるのかをシミュレートしてしまうというものです。なお、今回のシステムは馬連のみを計算しています。

## システムの作り方

### STEP1 スタイルの定義

それでは、勝ち馬投票券購入支援システムを作りましょう。いつもだと、エクセルの新規シートでタイトルを入力するところですが、今回は前準備から行います。少し複雑なシートを作ろうとすると、セルがとて画面に入り切りません。そこで、予め標準のフォントなどを設定しておきましょう。

エクセルのスタイル登録の機能を使うと、表示形式、フォント、配置といったセルの設定の登録が可能です。標準のスタイルは、「Osaka、12ポイント」に設定されているので、これを「細明朝体、12ポイント」に

変更します。「書式」メニューの「スタイル」から定義ダイアログが表示します。ここで「定義」ボタンを押すと画面1のようになります。ここで、細明朝、12ポイントに設定します。

作業環境も確認しておきましょう。まず、シートの列の表記が数字になっている場合には、「[他]」メニューの「作業状態設定」コマンドで「R1C1」のチェックボックスを外した状態にしておいてください。この連載ではA1形式という表記方法を使用します。また、オートフィル機能を利用するために「セルのドラッグ/ドロップ操作」がチェックされていることも確認しておいてください。

さあ、準備はできましたか？ この連載は毎回この状態から始めます。

### STEP2 タイトルと項目名

まずは、タイトルと項目名から入力します。左側のセル位置に、右側の文字や計算式を入力してくださいね。

C2	勝ち馬投票券購入支援システム
C5	1
C6	2
J4	当りナンバー
F6	ナンバー
H6	馬連
J6	金額
K6	倍率
L6	配当金
F7	1
F8	2
H7	-
I22	購入金額

馬番は18まで、ナンバーは15まで入力しますが、それぞれ1と2しか入力しません。それ以外は、オートフィル機能を使い、残りの数字を自動生成します。C5とC6の2つのセルを範囲指定して、右下のオートフィルハンドル（黒い点）をC22のセルまでドラッグします。これで、18までの連続の数字が入りました。同様の手順でF7とF8を範囲指定して、F21までドラッグ、H7のセルもオートフィルでH21までドラッグします。

さてここまでで、L列まで使っているため左右にスクロールしてし



画面1: スタイルの定義ダイアログボックス

## おとんとおかんのエクセル劇場 その①

# 馬券の配当金はこうやって知る

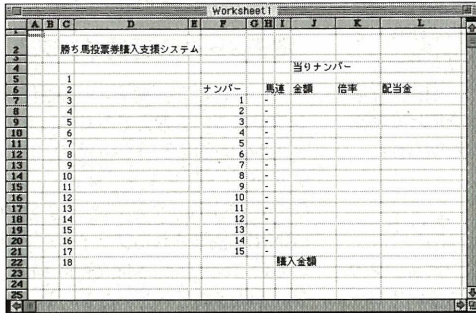
勝ち馬投票券購入支援システム ファンテック 古賀直樹

さあ、MacJapanに合わせてこの連載も新装開店です。「エクセルによる家庭内システム構築のすすめ」、改め「おとんとおかんのエクセル劇場」。後ろ姿美人(?)のおかんを中心として巻き起こる数々の出来事。そんな中でエクセルの使いこなし術を紹介します。方針としては、エクセルととにかく役立つものを作る、この一点のみです。ですから、エクセルのすべての機能を解説する連載には、どう間違ってもならないはず。機能を知りたい人は、マニュアルかヘルプを読んでください。それでは、第一話、「おかん、競馬場へ行く」の巻。

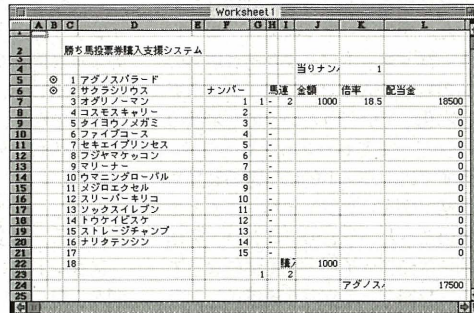


イラスト: 広田正康





画面2：文字入力、セル幅変更後の画面



画面3：計算式とサンプルデータ入り

まいます。これでは、確認しにくいので、先にセル幅とセル高さを変更してしまいましょう。

### STEP3 計算式の入力

次に、計算式を設定します。次のように入力してください。なお、以下の式のアルファベット、記号の入力は半角で行ってください。

B5=IF(OR(\$G\$23=C5,\$I\$23=C5), "◎", "")

L7=IF(\$K\$4=F7, J7\*K7, 0)

J22=SUM(J7:J21)

G23=IF(K4="", "", INDEX(G7:G21, K4))

I23=IF(K4="", "", INDEX(I7:I21, K4))

K24=IF(K4="", "どれもはいらなかったら", INDEX(D5:D22, G23) & "と"

& INDEX(D5:D22, I23) & "がきたとき")

L24=SUM(L7:L21)-J22

いくつかの式はオートフィル機能で複製します。まずB5のセルは、オートフィルハンドルをB22のセルまでドラッグします。同様にL7のセルをL21までオートフィルしてください。

簡単に解説しますと、L7からL21の配当金の計算式は、当りナンバーの入力とナンバーが一致したら、配当金を金額×倍率で計算します。外れたら0です。

G23とI23は途中の計算用のセルです。当りナンバーの馬番をそれぞれ計算しています。INDEX関数は指定範囲のある位置のデータを返すものです。

次に一番長い計算式が入っているK24は、投資額と配当金との差額を

計算するL24のセルの飾りです。当りナンバーのセルの内容を確認して何も入っていない、つまり外れの場合には、「どれもはいらなかったら」と表示し、当りナンバーが入力されている場合には、左側の馬番リストから2頭の馬の名前をINDEX関数で取り出して表示します。

ここまでを簡単に確認できるようにD5からD22に馬の名前、G7とI7に1と2を、J7に1000を、I7に18.5と入力してください。K4のセルに当りナンバーとして1を入力すると、配当金と馬番の前に◎が表示されるはずです。画面3がここまでの画面です。

### STEP4 シートの完成

ここまできたら、あと一歩です。最後の詰めとして、配置と表示形式、罫線、フォントを設定します。

#### ①セル内の配置を整える

- B5:C22 中央揃え
- F7:F21 中央揃え
- J4 右揃え
- F6:L6 中央揃え
- I22 右揃え
- K24 右揃え

#### ②表示形式を整える

- J7:J22 ¥#,##0;-
- ¥#,##0
- K7:K210.0"倍"
- L7:L21 ¥#,##0; ;
- L24 [青]#,##0"円の勝ち"; [赤]-#,##0"円の負け" ←[青]で表示色が青になります。

#### ③罫線を引く

B5:D22を範囲指定して、外枠と上を細線で、左を点線に設定します。F7からL22は、外枠と上、左を細線にします。そして、H7からI22を範囲指定して、option+command+←を押してください。これで細線の表示を切り替えられます。この場合

は細線を消去します。もちろん、「罫線」コマンドでも構いません。最後に入力枠として、当りナンバーのK4のセルを外枠を太線にして、馬券入力欄のG7からK21のセルも外枠を太線にします。[他]メニューの[画面設定]コマンドで[枠線表示]のチェックを外せば罫線のできあがりです。

#### ④フォントを指定する

C2のセルのタイトルを[書式]メニューの[フォント]コマンドで、フォントサイズを18ポイントに変更します。それから、計算用のセルG23とI23のセルのフォント色を白にして、見えないようにしてしまいます。これもひとつのテクニックです。以上で「勝ち馬投票券購入支援システム」の完成です。

### システムの使い方

まず、馬番リストに出走馬の名前を入力します。つぎに購入する馬券と倍率を入力しておきます。購入金

額と当りナンバーを入力すると、差し引きの儲けが計算されます。当りナンバーのセルをdeleteキーで消去したときは、外れの計算になります。



さて、「おとんとおかのエクセル劇場」はいかがでしたでしょうか。おかんは持ち前のパワーとこのシステムで、有馬記念まで常勝街道を突っ走るに違いありません。

なお、やる気のある方は、単勝、複勝、枠連を含めたシステムに挑戦してください。たぶん、最初から作り直しにはならないと思います。それでは、また来月もお会いしましょう。さようなら。



画面4：完成画面 サンプルデータ入り